

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第3部門第3区分
 【発行日】平成29年11月2日(2017.11.2)

【公開番号】特開2016-56326(P2016-56326A)
 【公開日】平成28年4月21日(2016.4.21)
 【年通号数】公開・登録公報2016-024
 【出願番号】特願2014-186101(P2014-186101)
 【国際特許分類】

C 0 9 D 4/02 (2006.01)
 B 0 5 D 7/02 (2006.01)
 B 0 5 D 7/24 (2006.01)
 C 0 8 F 20/00 (2006.01)

【 F I 】

C 0 9 D 4/02
 B 0 5 D 7/02
 B 0 5 D 7/24 3 0 2 P
 C 0 8 F 20/00 5 1 0

【手続補正書】

【提出日】平成29年9月8日(2017.9.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

昇華性の染料を樹脂体に蒸着させて定着させることによって染色された染色樹脂体にハードコートを行うために、染色樹脂体に付着されるハードコート用組成物であって、

3官能以上の(メタ)アクリレートモノマーと、

前記3官能以上の(メタ)アクリレートモノマーを溶解するための溶媒であって、グリコール系溶媒及びセロソルブ系溶媒の少なくとも一方からなる第1溶媒と、低級アルコールからなる第2溶媒と、が混合された溶媒と、

を有することを特徴とするハードコート用組成物。

【請求項2】

請求項1のハードコート用組成物において、

前記溶媒は、前記溶媒の全量に対して、前記第1溶媒が30重量%以上、且つ、80重量%以下の割合で混合されていることを特徴とするハードコート用組成物。

【請求項3】

染色された樹脂体にハードコートを行うために、染色樹脂体に付着されるハードコート用組成物であって、

3官能以上の(メタ)アクリレートモノマーと、

前記3官能以上の(メタ)アクリレートモノマーを溶解するための溶媒であって、グリコール系溶媒及びセロソルブ系溶媒の少なくとも一方からなる第1溶媒と、低級アルコールからなる第2溶媒と、が混合された溶媒と、を有し、

前記溶媒は、前記溶媒の全量に対して、前記第1溶媒が30重量%以上、且つ、80重量%以下の割合で混合されていることを特徴とするハードコート用組成物。

【請求項4】

染色された樹脂体にハードコートを行うことによって、ハードコート付き染色樹脂体を

製造するハードコート付き染色樹脂体の製造方法であって、

染料の付着された基体を樹脂体と非接触で対向させ、前記染料を加熱することによって、前記基体に付着された前記染料を昇華させ、前記染料を前記樹脂体に蒸着させる蒸着ステップと、

前記染料が蒸着された前記樹脂体を加熱することによって、前記染料を定着させる定着ステップと、

3官能以上の(メタ)アクリレートモノマーと、前記3官能以上の(メタ)アクリレートモノマーを溶解するための溶媒であって、グリコール系溶媒及びセロソルブ系溶媒の少なくとも一方からなる第1溶媒と、低級アルコールからなる第2溶媒と、が混合された溶媒と、を有する、ハードコート用組成物を、前記染料が定着された前記樹脂体に付着させるハードコート処理ステップと、

を有することを特徴とするハードコート付き染色樹脂体の製造方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

(1) 本開示の第1態様に係るハードコート用組成物は、昇華性の染料を樹脂体に蒸着させて定着させることによって染色された染色樹脂体にハードコートを行うために、染色樹脂体に付着されるハードコート用組成物であって、3官能以上の(メタ)アクリレートモノマーと、前記3官能以上の(メタ)アクリレートモノマーを溶解するための溶媒であって、グリコール系溶媒及びセロソルブ系溶媒の少なくとも一方からなる第1溶媒と、低級アルコールからなる第2溶媒と、が混合された溶媒と、を有することを特徴とする。

(2) 本開示の第2態様に係るハードコート用組成物は、染色された樹脂体にハードコートを行うために、染色樹脂体に付着されるハードコート用組成物であって、3官能以上の(メタ)アクリレートモノマーと、前記3官能以上の(メタ)アクリレートモノマーを溶解するための溶媒であって、グリコール系溶媒及びセロソルブ系溶媒の少なくとも一方からなる第1溶媒と、低級アルコールからなる第2溶媒と、が混合された溶媒と、を有し、前記溶媒は、前記溶媒の全量に対して、前記第1溶媒が30重量%以上、且つ、80重量%以下の割合で混合されていることを特徴とする。

(3) 本開示の第3態様に係るハードコート付き染色樹脂体の製造方法は、染色された樹脂体にハードコートを行うことによって、ハードコート付き染色樹脂体を製造するハードコート付き染色樹脂体の製造方法であって、染料の付着された基体を樹脂体と非接触で対向させ、前記染料を加熱することによって、前記基体に付着された前記染料を昇華させ、前記染料を前記樹脂体に蒸着させる蒸着ステップと、前記染料が蒸着された前記樹脂体を加熱することによって、前記染料を定着させる定着ステップと、3官能以上の(メタ)アクリレートモノマーと、前記3官能以上の(メタ)アクリレートモノマーを溶解するための溶媒であって、グリコール系溶媒及びセロソルブ系溶媒の少なくとも一方からなる第1溶媒と、低級アルコールからなる第2溶媒と、が混合された溶媒と、を有する、ハードコート用組成物を、前記染料が定着された前記樹脂体に付着させるハードコート処理ステップと、を有することを特徴とする。